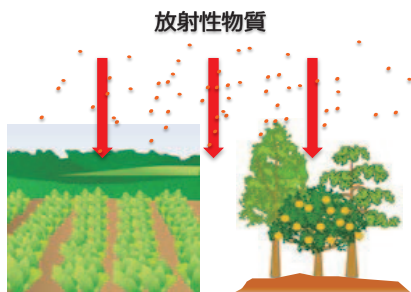


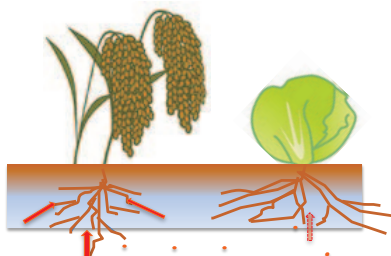
■ 降下した放射性物質による直接汚染



事故直後

事故直後に樹木に付着した放射性物質が果実や新芽に転流

■ 農地に降下した放射性物質の根からの吸収



事故後の作付け等

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

農林水産省

農産物の汚染経路は大きく3つに分けられます。

- ① 左端の図は、降下した放射性物質が直接付着する経路です。事故発生時に生育中であった葉物野菜などで放射性セシウム濃度の高い値がみられましたが、これが主要な汚染経路であったと考えられます。
- ② 右端の図は、農地に降下した放射性物質が根から吸収される経路です。事故後に作付けされたものについては、この経路が主要であると考えられます。
- ③ さらに、中央の図は、事故直後に果樹やお茶の樹体に付着した放射性物質が樹体内に浸透し、果実や茶の新芽に転流する経路です。

現在の各品目の主な汚染経路は、②又は③であり、各品目の汚染のメカニズムに合わせて低減対策が行われています。

本資料への収録日：2013年3月31日

関連 Q&A

・4章 QA3 農林水産物の安全性を確保するためにどのような取組がとられているのですか